

会 議 録

会議の名称		令和2年度第5回守谷市地域包括支援センター運営協議会		
開催日時		令和3年3月25日（木） 開会：午後1時30分　閉会：午後2時50分		
開催場所		守谷市役所 全員協議会室		
事務局 (担当課)		保健福祉部 健幸長寿課		
出席者	委員	城賀本会長，星野会長代理，坂本（美）委員，戸田委員， 佐藤委員，柏崎委員，市塚委員，吉田委員 計8人		
	その他	南部地域包括支援センター 石塚管理者，海老原看護師 計2名 北部地域包括支援センター 廣田管理者，山下主任介護支援専門員 計2名		
	事務局	稲葉保健福祉部次長兼健幸長寿課長，市村健幸長寿課課長補佐， 芳師渡係長，平井係長 計4人		
公開・非公開 の状況		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	1人
公開不可の場合 はその理由				
会議次第		1 開会 2 あいさつ 3 報告事項 (1) 令和2年度守谷市北部地域包括支援センター実績報告 (2) 令和2年度守谷市南部地域包括支援センター実績報告 (3) 令和2年度健幸長寿課取組報告 (4) 第8期守谷市高齢者福祉計画・介護保険事業計画について 4 協議事項 (1) 令和3年度守谷市地域包括支援センター事業計画の骨子(案)について (2) 令和3年度守谷市地域包括支援センター運営方針(案)について 5 その他 6 閉会		
確定年月日		会議録署名		
令和 3年 4月 6日		城賀本 満登		

審 議 経 過

1 開会

2 あいさつ

3 報告事項

(1) 令和2年度守谷市北部地域包括支援センター実績報告

(2) 令和2年度守谷市南部地域包括支援センター実績報告

令和2年度守谷市北部地域包括支援センター実績報告・令和2年度守谷市南部地域包括支援センター実績報告について報告し、ご意見等をいただいた。

【主な意見等】

委員：短期間でこれだけの内容をしていただいておりますが、地域包括支援センターを外部委託する際に、市は重点的な内容に特化していくという目的があったと思いますが、効果は出てきているのかお聞きしたいと思います。

事務局：ご質問ありがとうございます。私たちが直営包括支援センターだった時には、窓口に来た相談業務が多く、相談も700件程度でした。アウトリーチで出向いて把握することを頑張っていたおかげで約2000件の総合相談の件数となっています。主管課の健幸長寿課の取組はこの後の報告事項でお伝えします。

会長：最初の年で非常によくやっているとと思います。南部地域包括支援センターの総括のフレイル訪問にも該当しない高齢者への対応は具体的にどのようなものでしょうか。

南部：ご質問ありがとうございます。訪問の対象者ではない方ですので、地域や民生委員、近所の方々から情報を提供いただき、出向いて対応する方法を考えています。

会長：実際に訪問のリストに挙がらない人はいるのですか。

南部：はい。

事務局：少し補足します。今年、熱中症予防訪問と75歳から79歳の一人暮らしの方の名簿を提供して、状態が落ちていないかどうか外に出向いて確認してもらいました。市で把握している名簿以外で情報がもらえる仕組み、把握する方法を構築したいということだと思います。

委員：8050問題への対応についてはどのような内容でお考えでしょうか。

南部：ご質問ありがとうございます。この1年で、初めて社会の問題でもある事例を把握することができたので、今後は、市や地域を取巻く方々と連携を取りながらセンターとしてできること、できないことを整理して、関係各所と相談しながら取組んでいきたいと考えています。

(3) 令和2年度健幸長寿課取組報告

令和2年度健幸長寿課実績報告について報告し、ご意見等をいただいた。

【主な意見等】

委員：介護予防ケアマネジメント欄の要介護，要支援者は災害時の要支援者ということでしょうか。

事務局：ご質問ありがとうございます。こちらに関しては介護認定の審査結果で要支援者，要介護者と認定された方を指しています。介護認定で要介護，要支援の認定を受けた方はケアマネジャーがついて，状態もわかっているので介護予防把握事業の対象から除いています。

委員：地域包括支援センターの実績報告の内容に総合事業のケアプラン作成と介護予防支援のケアプラン作成は別のものですか。具体的にどういうことをやっているのですか。

事務局：制度上のことで，ややこしい仕組みですが，使うサービスによってケアプランが介護予防ケアマネジメントと介護予防支援の2種類に分かれていると理解していただきたいと思います。

委員：いきいきiネット電子連絡帳を現在活用している事業所はどの位でしょうか。また，今後の見通しについても分かる範囲で教えてください。

事務局：ご質問ありがとうございます。実際の登録としては，守谷市の患者さんが60人程度です。事業所については守谷市だけの件数は把握していませんが，守谷，取手，利根の2市1町で60弱です。訪問看護ステーションの看護師とかかりつけの医師が連絡をとる件数が多いと聞いています。今後は，在宅医療介護連携としてケアマネジャーさんにも積極的に多職種との連携に使っていただけるようPRを続けている状況です。

会長：これがないと，電話でいちいち対応しなければならず大変なのですが，ストレスなく使っています。患者さんに関わっている医療関係者の情報共有に非常に便利なツールだと思うので，できる限り広めていきたいと思えますし，医師会でも推奨しています。

(4) 第8期守谷市高齢者福祉計画・介護保険事業計画について

第8期守谷市高齢者福祉計画・介護保険事業計画について報告し，ご意見をいただきました。

【主な意見等】

委員：市民が拝見，拝読するにはどのようにすればよいのでしょうか。

事務局：ホームページ上からご覧いただけるのですが，冊子を市民の方に配布する計画はありません。ただし，ダイジェスト版を作成予定ですので，そちらができた際には必要な方にお配りすることが可能です。

4 協議事項

(1) 令和3年度守谷市地域包括支援センター事業計画の骨子（案）について

令和3年度守谷市地域包括支援センター事業計画の骨子（案）について報告し，ご承認いただきました。

(2) 令和3年度守谷市地域包括支援センター運営方針（案）について

令和3年度守谷市地域包括支援センター運営方針（案）について報告し、ご意見等をいただいた。

【主な意見等】

委員：地域におけるネットワークの構築について、具体的にどのような取り組みをするのか教えてください。

事務局：大きく2点を考えています。1点目は地域ケア個別会議。介護予防のための視点で専門職の意見をいただくケア会議と、よく困難ケースと言われる色々な方が絡む事例。こちらでいかに地域の方とのネットワークを作りながら北部、南部両包括が同じようにできるようにしていくこと。もう1点が、市の施策でもあるまちづくり協議会という母体が6圏域に設置されており、市の職員も参加している中で、地域によっては、高齢者の困りごとやこういうことをやってみたいという要望が出てくることが考えられます。そういう場に各圏域の包括支援センターにも参加してもらい、地域の役員の方、地域の事業所等とのつながりができることを考えています。

会長：地域ケア会議とまちづくり協議会で情報共有のようなことをやるのですか。

事務局：地域ケア会議とまちづくり協議会はイコールではないので別な分野で関われば良いと思っています。

5 その他
感謝状贈呈

6 閉会